

八潮市版スーパー・シティプロジェクト ～「住みやすさナンバー1のまち 八潮」の実現に向けて～

概要	「住みやすさナンバー1のまち 八潮」を実現するため、都市核・地域核の形成、ICT技術・再生可能エネルギーの活用等により、八潮市に住むこと、住み続けることが誇りに思えるようなまちづくりを推進する。
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○将来的な人口減少・少子高齢化の進行に伴う、コミュニティの衰退や市街地の空洞化等</li> <li>○都市の魅力や活力の低下</li> <li>○頻発化・激甚化する台風や大雨に伴う水害、切迫する首都直下地震への備え</li> </ul>

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	都市核・地域核を中心としたコンパクトなまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所周辺の整備による、人々が集い、賑わいを創出するシビックセンターの形成</li> <li>・各種イベントの開催等による活気と賑わいの創出</li> <li>・市北部でのスマートIC・(仮称)道の駅等の整備による、交通利便性を活かした拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設のリニューアル整備</li> <li>・各種機能の維持・集積</li> <li>・産業施設の立地誘導</li> </ul>
スマート	ICT技術を活用した情報伝達や移動手段の充実	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報通信機能を活用した情報発信の強化</li> <li>・拠点、地域資源をつなぐ、市内路線バスの再編等の公共交通網の充実や、BRT等の新たな移動手段の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段等の充実</li> </ul>
レジリエント	持続可能で災害に強いまちづくり	中～長期 (5～10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等へ再生可能エネルギー設備等の整備による災害時における電源確保に向けた仕組みの構築</li> <li>・自主防災組織の地区防災計画の作成や防災士の養成による地域のつながりや地域防災力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄電池</li> <li>・太陽光発電</li> <li>・再生可能エネルギー</li> </ul>



# 市全域での取組み

## 公共交通網の充実

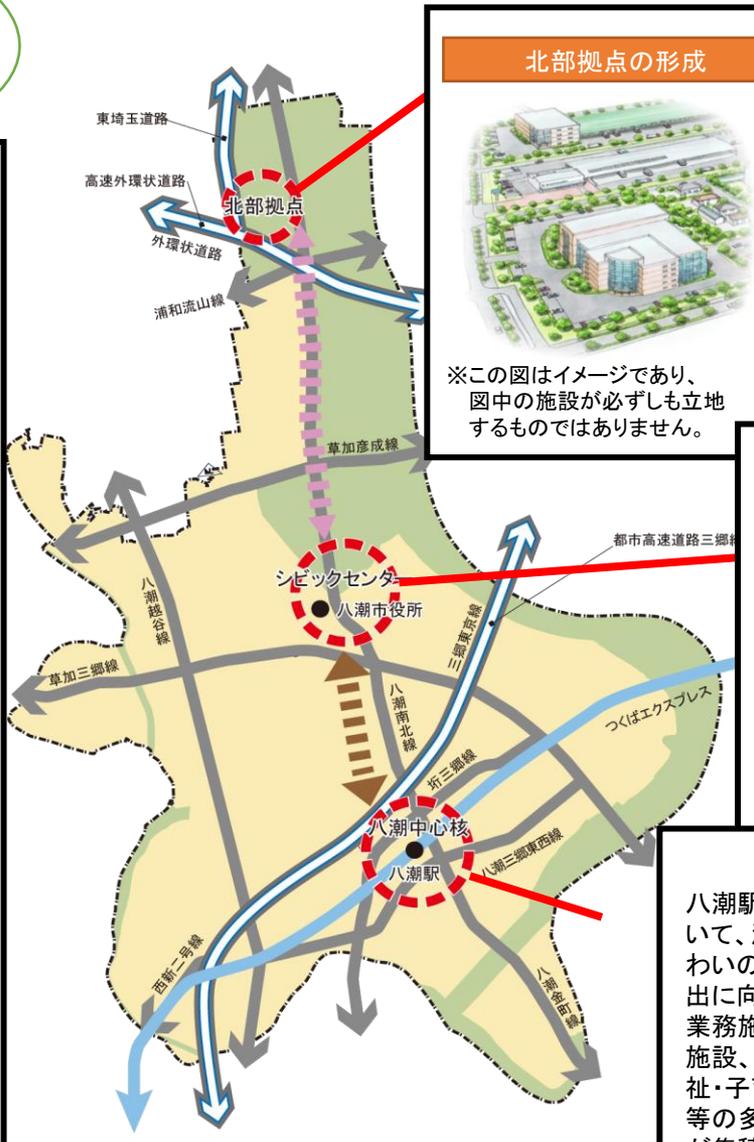


- ・拠点、地域資源をつなぐ、公共交通網の充実
- ・BRTなどの新たな交通システムの導入検討 等

## 地域防災力の向上



- ・防災訓練等を通じ、市民の防災知識の普及啓発を図るとともに、自主防災組織の育成及び活動支援を行い、地域のつながりや地域防災力の強化



## 北部拠点の形成



※この図はイメージであり、図中の施設が必ずしも立地するものではありません。

良好な交通アクセスを活かした(仮称)外環八潮パーキングエリアの整備やスマートインターチェンジの設置、地域振興施設の集積等、広域的な連携や機能導入を行うとともに、周辺的生活環境や教育環境等に配慮した緑豊かな北部拠点を形成



ハッピーこまちちゃん®

# 拠点ごとの取組み

## シビックセンターの形成



市役所周辺の公益・文化施設等の多様な機能の維持・集積等による、賑わいを創出する拠点の形成

## 八潮駅前の活気と賑わい創出



八潮駅周辺において、活気と賑わいの維持・創出に向けた商業業務施設、公益施設、医療・福祉・子育て施設等の多様な機能が集積した拠点の形成

※将来都市構造図一部抜粋